



(第2期数値震動台) 数値振動台の構築を目指した 構造物崩壊シミュレーション技術の開発と統合化

■平成18年度 数値震動台開発 研究成果発表会

主催: 独立行政法人 防災科学技術研究所
E-ディフェンス・数値震動台開発委員会

開催日: 平成19年5月11日(金)

場所: TKP秋葉原ホール
(東京都千代田区岩本町3-3-6 井門岩本町ビル7F)

(入場無料:90名先着順, 参加希望者は、氏名、所属・役職、
連絡先住所・TEL・FAX・E-Mailを明記の上、5月7日までに
担当までお申し込み下さい。)



会場案内図

■プログラム

15:00 ~ 15:05 開会挨拶 中島正愛 (防災科学技術研究所)

< E-ディフェンス・数値震動台開発委員会・活動報告 >

15:05 ~ 15:35 E-Defenseと数値震動台開発
堀 宗朗 (東京大学地震研)

15:35 ~ 16:05 次世代FEMとしての数値震動台: E-Simulator
野口 裕久 (慶應義塾大学)

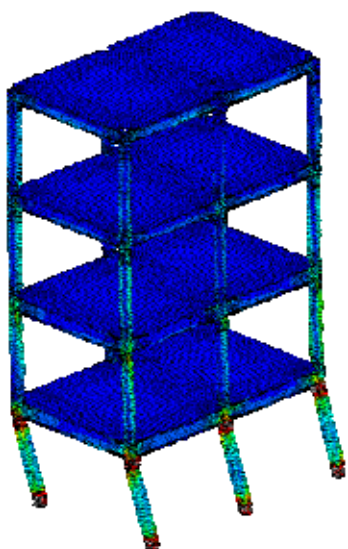
休憩

< 土木、建築分野のFEMの現状と課題 >

16:15 ~ 16:45 コンクリート工学のFEM解析の現状と課題
中村 光 (名古屋大学)

16:45 ~ 17:15 鉄骨構造のFEM解析の現状と課題
大崎 純 (京都大学)

17:15 ~ 17:20 閉会挨拶 中島正愛 (防災科学技術研究所)

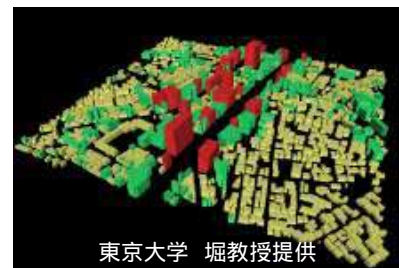


建築S造倒壊シミュレーション
京都大学 大崎純准教授提供



京都大学 家村教授提供

高架橋RC造橋脚の地震倒壊



東京大学 堀教授提供

建物モデル約2000棟

今後のシミュレーション検討課題

現在、都市の大きく揺れるところ
まで解析可能、Eディフェンス実
験の成果により破壊領域までを
計算する



東京大学 堀教授提供

都市災害シミュレーション